

2016年10月4日

エンジニアリングプラスチック対応、デュアルヘッド熱溶解積層（FDM）方式 デスクトップ型 3Dプリンタ「MF-2500EP」を新発売

武藤工業株式会社

MUTOHホールディングス傘下で、3Dプリンタの製造・販売を手掛ける 武藤工業株式会社（本社：世田谷区、社長：早川信正、以下：武藤工業）は、このたび、自社開発製品のデスクトップ型3Dプリンタでの上位機種となる、エンジニアリングプラスチック（エンプラ）にも対応した「MF-2500EP」を2016年11月より販売開始いたします。

今般発売を開始いたします「MF-2500EP」は、昨年発売いたしましたデュアルヘッドで造形エリア300mm×300mm×300mmの「MF-2200D」で取り入れた機能を継承しながら、エンプラに対応して300℃の高温を実現する新ヘッドを開発すると共にテーブル温度を150℃に高め反りの低減を図りました。その結果、エンプラの代表格であるポリカーボネートの高温に耐える特性を活かして金型の入れ子の保持やプリント基板実装メーカーで実装直後の高温基板の位置決め治具などの造形を実現するご要望に応えた新製品です。



「MF-2500EP」外観

また、国内ではエンブラのフィラメントがあまり流通していないため、polymaker社(米国)のポリカーボネイト材であるPC-Plus™もしくはPC-Max™のご利用を推奨します。
当該製品については近々、弊社が直接取扱う予定です。更に材料の幅を広げるためにポリカーボネイト以外のフィラメント開発も検討しています。



「MF-2500EP」での出力サンプル
(左画像…エンブラフィラメントによるサンプル)

「MF-2500EP」の販売予定価格は 120 万円（税別）。
初年度販売予想は 200 台を想定しております。

引き続き、初めての方でも理解しやすい完全日本語対応。
MUTOHカスタマーセンターによる「安心サポート」で購入後も安心してご利用いただけます。

また、販売開始に先立ち 10 月 5 日よりインテックス大阪で開催されます「第 19 回関西設計・製造ソリューション展」（総称：関西ものづくりワールド 2016）にて、参考出展を予定しております。

< この件のお問い合わせは >

武藤工業株式会社

3Dプリンタ事業部 カスタマーセンター

担当：庄子

TEL 0120-147-610 / FAX 03-6758-7134

E-mail : info.3d@mutoheng.jp

「MF-2500EP」製品仕様（予定）

型式		MF-2500EP
造形方式		熱溶融積層方式
最大造形サイズ		300×300×300mm
Z 軸解像度	最少積層ピッチ	0.05mm
	最大積層ピッチ	0.5mm
使用材料		PC(ホリカーホネイト)/ABS/PLA/TPC/ SB(スチレン・ブタジエン) Φ 1.75mm が標準、ヘッド交換でΦ 3.0mm 使用可能
プリントヘッド	数	2(左右独立運転:オートパークモード)
	温度制御範囲	室温～300℃
テーブル	最大造形重量	2kg
	温度制御範囲	室温～150℃
照明		LED
サポート OS		Windows7、8、8.1、10
ソフトウェア	制御ソフト	日本語 Pronterface
	スライサーソフト	日本語 Slic3r
データ入力	形式	STL
	接続	USB(タイプ B)、SD カード
外形寸法		705(W)×680(D)×680(H)mm (フィラメントなど突起部含まず)
本体重量		約 57kg
入力電圧		AC100V 50/60Hz

※仕様に関しましては予告無く変更する場合があります。

< 提供エレメント >

- ・ABS 樹脂と PLA 樹脂フィラメント※各色が選べます。
白、赤、青、黒、黄、蛍光緑、蛍光オレンジ、クレー、透明、紫、透明赤（全 11 色）
- ・やわらかフィラメント
TPC、SB (スチレン・ブタジエン)
- ・サポート材
PVA (ポバール)

※フィラメント径は 1.75 mmでの提供となります。PVA は 3.0mm のみ。